

●タウンミーティング【概要】質疑応答・意見交換

7/7 市役所本庁舎

参加者等のご意見等	市応答
今熊地区周辺エリア	
・今熊地区のコンセプトについて ・狭山池周辺での取組みについて ・南海バスの便数減少について ・郷土資料館を今熊に戻すことについて ・市の魅力発信について	・イメージとして「憩い・にぎわい・学び」と設定。 ・まずは優先的に今熊地区周辺エリアを進めていく。 ・市循環バスで、市民の利便性を確保する。 ・資料館は今後も現在の場所で維持したい。 ・今後も魅力発信を行っていく。
学校園の実施方針	
・幼稚園・こども園の意見照会について ・（統合）公立園の定員について ・通園距離について ・要配慮児童に対する考えについて ・既存職員の雇用について ・幼稚園の園数について ・公立の幼稚園の園児増加のための取組みについて（これまでの内容）	・アンケートを基本方針策定時に実施した。 ・今後検討する。 ・負担がかからないよう検討を進める。 ・要配慮児童の対応は十分検討する。 ・（統合）公立園において勤務を想定している。 ・（統合）公立園の1園と考えている。 ・様々実施したが、将来的に増加は見込めない

7/10 コミュニティセンター

参加者等のご意見等	市応答
今熊地区周辺エリア	
・今熊複合施設の営業時間について ・今熊複合施設の防災機能について ・建て替え中の既存機能について ・複合施設の他市での成功事例について ・施設の利用料について	・民間との連携を含め検討する。 ・防災機能は持たせるが内容は今後検討する。 ・活動できる場所をできるだけ確保するよう検討。 ・（おにクルを紹介） ・最低限必要なものもあり、今後検討を進める。
学校園の実施方針	
・（統合）公立園の定員について ・放課後児童会の待機児童について ・保育時間の延長時間について ・幼稚園教育の継承について ・通園の負担について ・公立幼稚園の存続について ・小規模園について ・要配慮児童について（支援学校等） ・	・今後検討していく。 ・将来的に待機児童を解消できるよう検討を進める。 ・ニーズを踏まえ、今後検討する。 ・伝統は敬称していく。 ・負担がかからないよう検討を進める。 ・（統合）公立園の1園と考えている。 ・引き続き大阪府と協議・要望していく。

参加者等のご意見等	市応答
今熊地区周辺エリア	
・ 工事期間中の代替施設について ・ アプリコットホームの建物について ・ 市民プールや運動施設の新設について ・ 今後の市民意見等について	・ 工事期間中の代替施設は今後検討を進める。 ・ 利用者のニーズを一番に検討し、引き続き協議していきたい。 ・ 具体的な内容については今後検討を進める。 ・ ワークショップ等の開催を想定している。
学校園の実施方針	
・ 学校のクラブ活動について ・ ICT 教育について ・ (統合) 公立園のツツ面のイメージについて ・ 私立と公立のこども園の棲み分けについて ・ 大学等とのネットワークについて ・ 移住者(子育て世代)の増加につながる施策について ・ (統合) 公立園について ・ 通園が遠くなることについて	・ 部活動の地域移行は現在検討を進めている。 ・ 南三小をパレット校として全体に広げていきたい。 ・ (統合) 公立園では、新しい魅力をつくっていきたい。 ・ 今後詳細に検討を進めて行く。 ・ 今後詳細に検討を進めて行く。 ・ 様々な施策を展開しており、実行しているところ。 ・ 各施設の課題解消に向け今後も検討していく。 ・ 通わせたいと思われる園にしていきたい。

●タウンミーティング① ～大阪狭山市の公共施設をみんなで考える～

日時：令和6年7月7日（日）13時00分～16時00分

場所：大阪狭山市役所 3階第1・第2会議室

質疑応答・意見交換

	参加者等のご意見等	応答
1	・今熊地区周辺エリアのコンセプトについて「憩い・にぎわい・学び」についてだが、マッチしないように思う。学びについては、図書館、生涯学習機能が該当すると思うが、カフェ等のにぎわい空間については、新設するから書かれている言葉なのか。現状の施設を充足するための施策ではない、なんのためのものか、空き地をうめるためなのか、「憩い・にぎわい」はキャッチフレーズが大きすぎるのでは。その必要性については何も答えてもらっていないように思うのだが。 ・公共施設を縮小することなので、保健センター等は縮小されるのかなとも思ったりする。空いた場所にカフェなどが出来るのかと思ったり。 ・アンケートを実施したというけれど、その存在を知らないし、どこの地区の人にとったのか。 ・大阪狭山市全体で憩いの場所が足りない。狭山池があり、コメダコーヒーもできたが、なぜ今熊で憩いの場が必要なのか。今熊の取組みの重要なキャッチフレーズになっているが。	・現状も大事だが、これからの公共施設のあり方について、市として、市民のみなさまに利用してもらえる施設をつくるのが大事であると考えている。 ・どのような施設にするのが良いかと考えた時に、コンセプト、イメージとして、憩える場所、もしくはにぎわいを創出してもらえる場所、もしくは学んでもらえる場所を考えています。 ・現在は保健センター、公民館、図書館、さやま荘などがありますが、イメージとしては複合施設にしたいと考えています。1つの建物の中に全ての機能を入れてもよいし、2つまたは3つなど機能ごとにわけるとも1つであると思っています。現時点ではなにも決まっていません。それも含めて市民のみなさまの意見を聞きながらまいります。
2	・今熊地区には保健センター、公民館、図書館、障害者母子センター、さやま荘、共同作業所など色々あり、福祉関係の施設が中心であるように思うが、今熊地区のコンセプトである人が集まるというのは、実際の機能とはかけ離れているような気がする。 ・そのため、先の人が言ったように狭山池	・色々な考え方があるが、今後の公共施設のあり方として、今熊地区に集約するという必要はないし、もっと分散したほうがいいのかというのもある、また狭山池周辺にというのもある、また近大跡地にという考え方もあると思っています。 ・ただ、冒頭の挨拶で申し上げた通り、公共施設のあり方について、公共施設再配置計画

	参加者等のご意見等	応答
	周辺に人が集まるような施設をつくって移住者を集めて、人口減少を食い止め、大阪狭山市の発展につなげるといったコンセプトがあればいいのではないかと思います。 ・現在の今熊地区の建て替えと機能の充実とあるが、例えば、保健センターは近大跡地に移転するとか、医療施設をとということであれば、現在の施設を充実させて入れるとかすればよいのでは。 ・現在の郷土資料館については必要なのか。これらのちぐはぐをやめて、もう少し的を絞ってやってほしいと思う。市の描いているイメージは今熊地区だけでは不可能だと思う。	策定委員会を設け、市民代表の方々、市民団体代表の方々、有識者の方々での検討を踏まえ、市民アンケートやパブリックコメントをやってきました。 ・それらを踏まえて、今まずは、今熊地区周辺エリアを優先的に手を加えていきたいと思います。 うとなっているので、これまでの過程が行政として説明不十分だった部分はあるかもしれませんが、色々なご意見をお聞きした過程を経て、まずは優先的に今熊地区周辺エリアを市民の皆様としっかりと考えながら進めていきたいと思いますということになっているのでご理解いただければと思います。
3	【辻先生へ質問・意見】 ・あまの街道は歩いたことがあるか。 ・保健センターと資料館の間の道を上がっていったところに入があるのだが、標識もなく、草が沢山生えていて、行きにくく暗い道。そのため、整備をして、舗装したらすばらしいルートが出来ると思う。今熊の施設と一体化して、老人の施設や小学校の放課後デイサービスとか、図書館とかレストランとか、宿泊施設などもつくったらいいのではないかと思います。 ・泉が丘に、ビックアイという障がい者の宿泊施設や公園、ステージなどがある施設があるが、同様の施設を面積は半分にして上に高くしてつくって、あいた土地で芝生にしたり、カフェ（屋外で飲める）をつくったり、憩いの場を作って、歩きたい人はあまの街道を歩く、というような場所をつくったらいいのではないかと思います。 ・あまの街道の下の方で、元は産業廃棄物が捨てられていたところなのだが、広さ	

	参加者等のご意見等	応答
	もあり、眺めがすごくよく素敵なお場所。今は草がたくさん生えていて、少しメタンガスが出ているので自然公園には出来ないが、あれだけのスペースがあればすばらしい自然公園に出来ると思うので、公共施設と散歩道ということでもつないでもらえれば。ぜひ先生も歩いてみてほしい。	
4	・辻先生が市循環バスを増やしてはと市長に聞いた際、市長が南海バスの話が出たが、近大病院が泉が丘へ移転したら南海バスの便数が減るというように聞こえた。 ・もしそうなるとしたら、新たな複合施設が今熊であろうが、狭山池にであろうが、近大跡地に出来ようが狭山にとっては大きなマイナスとなるのではないか。	・先ほど南海の路線バスの話は少しさせてもらったが、私の中では危機感を持っているところです。 ・今の時点ではっきりと南海バスからそのような話はされていませんが、身近な金剛バスの事例は、原因は人員不足（運転手不足）によるものと聞いています。 ・それは金剛バスに限らず全てのバス会社にあてはまることです。近大病院が移転することはなにがしかの影響がでるのではないかと危惧しているところからの発言をしたところです。 ・ただ、もし万が一そうなったとしても、市循環バスで、市民のみなさまの利便性はしっかりと確保をしていきたいと考えています。
5	・郷土資料館は狭山池博物館に間借りしているが、スペースも広くない上に大したものもない状態。 ・末永先生の名前は大きいので、功績を継承する建物として郷土資料館を今熊に戻すことは出来ないのか。 ・このようにたいしたものがない状態はいかななものかと思うのだが。	・大阪狭山市資料館は間借りではなく、大阪府立狭山池博物館と共同運営をしています。今の時点では、大阪狭山市資料館は今後も維持したいと考えています。 ・末永先生の功績の大きさは十分に認識しているので、どのように継承していくかについては議論の余地はあると思っています。しっかりと検討していきたいと考えています。 ・長い目で見た時に、大阪府立狭山池博物館の今後の動きによっては、資料館のあり方や末永先生の功績の継承について検討していく必要があると認識しています。
6	・通園している保護者の意見を聞かずに進めるのは間違っている。	・検討委員会のなかでアンケートを行い、結果も踏まえ検討し、答申をいただきました。

	参加者等のご意見等	応答
	・働く保護者にとって、迎えに行くのは大変だ。 ・結論ありきでなく、意見を聞いてほしい。	・アンケートは、令和4年7月に、当時実際に通っている方やこれから通う方を対象に実施し、教育委員会が進めようとしている取組みについて、意見を聞いた結果を今回お示しています。
7	・今、こども園に通わせているが、統合によって、希望する園に行けなくなってしまうようなことにはならないのか。 ・今後、子どもが入ることを考えると不安があり、統合することによって入園の障壁がより高くなってしまうことにならない方がいいと思う。 ・子育て支援課、南館、保健センターに行くことがあり、再編するなら市役所も今熊にして1箇所にしてほしい。 ・狭山池や今の役所のあたりを充実させて、公園とかを充実してほしい。	・新しく計画しているこども園の定員については、これから検討していきます。また、個別の要望事項については、個々の対応になります。 ・市役所に足を運ばなくても自宅から申請手続きができるような市役所をめざし、推進していきます。
8	・アンケートの学校園の適正規模・適正配置の取組みで配慮すべき点について、8項目あって、1番多いのは子どもたちの通学・通園時間、距離、方法、安全の確保で82.8%、次が36.8%で子育て機能を有する施設との連携が多かった。 - 最大の関心事は、通園するときの距離はどこが近いのかということだと思う。	・施設を1つにまとめて適正な規模で子どもたちの教育・保育を行っていこうという案ですので、通園バスのルート等、子どもたちに負担がかからないような方法を検討していきます。
9	・3つある幼稚園を1つにするというのは、非常に大きな負担で、障がいがある、体力的にしんどい子が通えるのか。バスで耐えられるのか。 ・幼稚園がなくなることは職員の仕事もなくなることも考えるべきだし、アンケートを取ったとのことだが、不安に対して、文書で出すべきではないか。 ・遠くなって子どもが病気になったときに、どうやって迎えにいったらいいのか。きちんと文書を出してほしい。 ・地域の園がなくなってしまう、遠くまで行かないといけなくなる、とても大きい話である。	・公立園が果たすべき役割を重要視していて、配慮の必要な子どもへの対応はしっかりと行っています。 ・職員の待遇については、統廃合対象の施設で勤務する職員は、基本的には新こども園にて勤務していただくこととなります。 ・アンケートの回答ですが、個々に回答することはしておらず、いただいた内容を検討し、実施方針を策定していきます。

	参加者等のご意見等	応答
10	・幼稚園 3 園だけで十分適正規模が成り立つと思うが、1 園となると、距離的に南の方へ行かないといけない。 利便性やコストの問題より、子どもたちがより良い教育・保育を受けられるために、私たちの税金は子どもたちのために使ってほしい。 アンケートで距離のことが言われているのに、南の方に 1 つにするというのは問題だと思っている。 幼稚園の子どもは、地域のなかで育つもので、3 つの園のうちほとんどが狭山中校区で、その地域で育っていくことを大事にしてほしい。 1 園でなく、2 園は考えられないのか。	・教育・保育は民間の力も借りながら進めており、検討委員会で再編・統合についてご理解いただいています。 ご意見の中には幼稚園を民間のこども園に移行してはどうかという意見もありましたが、公立園の果たすべき役割を守ることの方針の中へしっかり明記した経緯があります。 民間の力も借りてということなので、公立のすべき役割については 2 園ではなく 1 園でと現時点では考えています。 ・年齢に応じた適正な人数というのがありますので、それに応じた職員の配置を行います。
11	大阪狭山市を発展させようと思ったら、若い人、子どもがいる人を呼べる力をまち全体として持たないといけない。 若い人がくるためには、保育所、こども園を充実させないと転入する意味がない。 このまちを充実して大きくしていくことは、市長の責務でもあると思う。 チャレンジ精神を持っていないと。 ・公立の幼稚園が減っているから仕方ないではなくて、増やすためにどうしたらいいのかを考えないといけない。 ・これ以上若い人が来る見込みがないということで判断されたのか。 ・今ある 3 つの園を市長は否定するというものでいいのか。	・人口は減っていくが、みんなが活き活きと活動できるまちをどうつくるか。 ・大阪狭山市の就学前、小学校に行くまでの子どもたちの子育て環境をつくっているのは、公立の幼稚園、こども園、私立のこども園・幼稚園があり、公私両方が力を合わせて大阪狭山市の就学前の子どもたちを見守ってくれています。 今の傾向では、公立園に入園したいという希望者が年々減り、民間は増え、今後も増える見込みであるというデータがあります。 公私両方が力を合わせて、協力しながら子育て環境を充実させていくというのが大きな方向性です。 ・公立幼稚園は、今後 1 園にした方が規模は縮小されますが、サービスは充実させていくという一定の方向性が出ています。 ・公立の幼稚園を存続させていくために、2 年保育を 3 年保育にして、教育内容の充実や一部給食を導入、小学校や地域との連携を含めて、特長・魅力を引き出すように取り組んできましたが、将来的に公立の希望者の見込みは望めない現状を判断して今の状態になっています。

	参加者等のご意見等	応答
		・公立の幼稚園・こども園でも老朽化が進んでおり、安全を守るための策として、提案させてもらっていますが、市民の皆様から意見を頂戴しながら、当事者の意見を尊重して、この間取組みを進めてきて今の段階にきており、1つ1つの手続きを踏みながら、今の方向性になっています。 ・就学前のこどもたちの教育、子育て環境をつくっているのは公立の幼稚園こども園だけではなく民間園にもお世話になっています。 今後もし統合したあと、地域の方々のご希望も踏まえて、可能であれば、民間の事業者にもその地域に入っていただくこともあり得ます。 今後どうなるかわかりませんが、跡地の利用の仕方として、他の幼稚園を統廃合した折も実施しています。
12	・公共施設の問題を考える場合、どこの市も集中型か分散型か、人口減少の中で議論されているが、公立の幼稚園の魅力をもっと発信していくべきである。 「子育てしやすい大阪狭山市」を大事にしないと、市の施策がいいか悪いかで人口が変わってくる。住んでよかったさやまを胸に、魅力をもっと発信して欲しい	・本市には、いろんな魅力があり、公私関係なく、大阪狭山市で活動されている方全てが市民で、それぞれの立場で役割を担っていただくことで、大阪狭山市の魅力が増し、大阪狭山市で住みたい人も増えていくと期待しているので、出来るだけ行政としても魅力発信を担っていきたいと考えております。

●タウンミーティング② ～大阪狭山市の公共施設をみんなで考える～

日時：令和6年7月10日（水）18時30分～20時30分

場所：大阪狭山市立コミュニティセンター 4階大会議室

質疑応答・意見交換

	参加者等のご意見等	応答
1	・営業時間については深夜までするとかどのように考えているか。 ・PTAに参加しているが、PCを使用しながらコーヒーを飲みながら、19時とか20時以降に気軽にミーティングができるようなところがあればいいなと思う。	・今後の施設のあり方をどのように考えるかだと思っています。 ・今後も全て公共でやろうとすると、午後10時以降も営業するのは難しいと思います。ただ、PFI、民間の事業者と提携して公共の施設を運営するという考え方でいくと、同じ建物の一部は民間が運営して、一部は公共が運営して、コンセプトにもあった「にぎわい」をつくるとかいう思いを実現する一つの手段として、民間のカフェを誘致して、そのエリアだけは時間を延長して営業するということは可能だと思っています。 ・今後そのような希望を市民のみなさまからいただくことになれば、考えることになると思っています。
2	・防災拠点になるような、耐震に優れた建物であったり、水が蓄えられる機能であったり、非常時にトイレが使えるとか、防災拠点としての役割を果たすような施設になれば、市民としても何かあったときはここに行けばいいと思うが、そのようなコンセプトは盛り込む予定はあるか。	・資料2の右下の設問3、アンケートの結果を載せているが、防災機能についてぜひ充実してほしいと希望をいただいています。 ・出来る限り、その機能はもたせた施設にしたいと思っていますが、どういう設備があると防災機能が備わった施設となるか、色々な防災機能の持ち方があると思うので、予算のことも考えないといけませんが、どういう設備があれば市民の皆様には有益となるか考えていきたいと思っています。
3	・建て替え中の施設について。	・当然、複合施設をつくるときに、どの場所で、どのくらいの広さの施設をというのは考える必要があると思っています。 ・また、広大な敷地であることから、複数の施設があり、何期かに区切って工事をしてい

	参加者等のご意見等	応答
		くことになると考えています。一番初めに工事をするところは、その施設をこわさなければいけないので、別の場所でその機能を果たしてもらうことになると思っています。詳細は今後詰めていくことになりましたが、今まで施設を利用していた人が、全くどこの施設も使えなくなるということは出来るだけ避け、どこかでは活動できる場所を確保していきたいと思っています。
4	・関西圏で複合施設の成功例はあるか。	・複合施設の例として、大阪府茨木市にある「おにクル」へ視察に行ってきました。 ・子育て支援機能、図書館機能、市民活動支援センター機能など、色々な機能が入って非常に市民の方々にぎわっている施設でありました。非常に参考になる施設でした。利用されている人のお顔を見ると、すごく楽し気で、こういう施設が出来てよかったというような雰囲気を感じました。 ・このような先進事例も参考にしながら、市民の皆様がここを使いたい、愛着を持って使っていきたいと思うような施設を一緒につくっていきたいと考えているので、今後ワークショップでもご意見をいただけたらと思っています。
5	・誰もが利用できる、利用したいと思える施設を、というのは言葉としてはいいと思う。 ・例としててんしばの話があったが、昔はそうでなかったが、今は天王寺公園は入場料が必要になった。 ・民間が運営すると効率的になると思うが、利益をあげることが目的なので、市が運営すると非効率な部分はあるかもしれないが、そこは改善していったら、全ての市民が使いやすい施設にしてほしい。 ・一部の人が費用を払って利用できる施設というのは、工夫してほしい。	・出来る限り多くの市民に使ってもらうことを考えると、理想は全て無料であると思っています。 ・ただ、現在、コミュニティセンターや公民館、SAYAKA ホールなど、市民であっても利用料を払っていただけて使用していただいています。最低限、施設の運営していこうと思うと一定の収入が維持管理に必要なのでご理解をお願いしたい。 ・ただし、民間が営む事業については、全ての人が利用できるかということについては、出来る限り安価な値段でということになりますが、その安価ということについては利用

	参加者等のご意見等	応答
		される方がサービスに見合うかどうかの判断になりますので、民間でもそのあたりを見ての値段設定になると思っています。 ・民間と一緒にすることで施設が利用しやすくなるということもあるので、具体的な部分については詰めていきたいと思っています。
6	・あり方検討会のときは、公立幼稚園は1つ残すということだったが、案ではすべての園がなくなるとのことである。 ・教育内容は幼稚園、保育所、こども園、どれでも同じであるという説明があったが、公立幼稚園と保育所の中身は異なる部分はあると思う。 ・適正な規模でなければ、ダイナミックな活動ができないとか、クラス替えがなくそのままの人間関係でいくとか、色々あるが、工夫できる部分だと思う。 ・1園になると大規模になると思うが、定員はどうするのか。	・現時点で定員は決まっていません。 現在の状況などを踏まえて今後検討していきます。
7	・学童の待機児童が多いようだが、それについてどう考えているのか。	・抜本的な解消は現状では難しい状況であり、待機児童の親御さんへのご案内としては、夏休みの預かり事業や、放課後の元気っこ事業で対応させていただいております。 ・将来的に解消できるよう、対応について検討しているところですので、ご理解いただきますようお願いいたします。
8	・取組みとして保育時間の延長とあるが、どのぐらいの時間で考えているのか。	・現時点で具体的には決まっておりませんが、これから入園する方のニーズを踏まえ、時間の詳細を決めていきたいと考えております。
9	・公立幼稚園は非常に長い歴史があり、培ってきた教育内容もしっかりしている。それがどう受け継がれるのかが心配。それぞれの先生が培われてきた資質、教育内容をどう発信していくのであるが、例えば公開保育するとか、大学の先生と一	・本市としても、幼児教育の伝統を引き継いでいきたいと考えております。 ・新たなこども園については、パイロット的な役割を果たすと考えており、民間園を含め、幼児教育のことについて共有しながら進めていく体制があり、それについては今後も

	参加者等のご意見等	応答
	緒に教育内容について研究していくとか、いろいろなやり方があると思う。 ・新しいこども園は、どう生まれ変わるか楽しみにしているとともに、どれだけおもしろい保育ができる環境をつくれるか、例えば、自然物を園の中に入れている事例もある。 せつかく緑がこれだけあるのだから、それを活かすような保育内容をつくっていくということも大事だと思う。 学童や高齢者施設を一緒にこの施設に入れるとか、いろんな交流の仕方が考えられるので、ただ小さい子ども集めるのではなく、緑や多目的な内容を取り入れた新しいものをつくってほしい。	継続していくとともに、新たな園をしっかりとつくっていきたいと考えております。
10	・基本方針のなかで公立園として幼稚園・こども園を維持すると書いていたが、そのことは共通認識であり、合意されていたことである。 ・大阪狭山市の幼児教育の素晴らしい伝統があるということで、以前はどの校区にも歩いて行ける幼稚園があった。1園となることで心配なのは、北の方に住んでいる方は通園バスになるかと思うが、とても遠いということ。 公立なので、地元の方は身近なところに通わせたいというニーズがあると思う。そのあたりの保護者の気持ちを汲み取ってほしい。 ・規模については、子どもを育てていくうえで、小規模が必ずしもあってはならないわけではないと思う。小規模でとてもすばらしいことやっている事例もあるし、良いところもある。必ず切磋琢磨して、複数クラスで過ごしていかないといけないわけでもないし、適正規模というのはあくまでも基準であって、市独自で定員を考えることができ、市独自で教育を進めていっていいというのが全体的	・1園になる場合、バスを運行するとなると遠くから通っていただくことになる子どもも想定されるが、負担の軽減や疲れにくいようなルートの設定を今後考えていきます。 ・小規模であることのメリット・デメリットについては検討会でしっかり議論いただいて、一定の規模での育ちを求めていこうという答申をいただいたうえで方向性を出しているという経緯があります。 公立幼稚園はなくなることとなりますが、こども園であっても、幼稚園教育の内容は変わることがないということについて、ご理解いただければと思います。

	参加者等のご意見等	応答
	な考え方だと思う。 公立用地園が 0 であっていいのかというのは、再考していただきたい。	
11	・説明だけを聞くと、園そのものは良い環境になると思うが、子どもを通わせる、親が連れていくと考えたときに相当無理があるのではないかという想いが拭い去れない。 ・特に共働きしている家庭などは、仕事の調整等様々な影響があると思うが、どうやって解決するのかというのが知りたい。 ・通えるという保障がないのであれば、2 園にする案が出てもおかしくないと思うし、通える保障があるから 1 園にしたのだと思うが、話を聞いているだけでは、その保障があるのか、ないのかがわからないと思う。	・実際の子どもたちが、新しい園に通っていただくのをどうするのかということについて、方法論については具体的にお示しできない状況ですが、バスを導入してできるだけ負担のないようなルートで送迎したいと考えております。 ・バスの運行においては、市域の中で園に通っていただくことは可能であると考えており、実際にどのようなルートにしていくかということについては、これから検討してまいります。
12	・少数の立場の方についての話になるが、配慮が必要なお子さんの学びの場について、障がいをお持ちの子どもさんは、それぞれの地域の学校に通う場合や、府立支援学校に通う場合とあると思うが、質の高い教育・専門的な教育を少しでも受けさせたいと思われる母親も多く、そんなときに地理がどうしても問題となってくる。 ・適正配置の検討のなかで、例えば府の専門的な教育をされる学校の誘致や分校を配置できるようにしていただきたい。 ・対象人数に対して大きな取組みになってしまうかもしれないが、少ないご家庭のためにはなるが、配慮していただきたい。	・最寄りの支援学校までの距離については本市から遠方で通うのが難しいということではこれまでも大阪府には伝えているところです。市と府の役割の中で、教育委員会としましては、大阪府に要望し続けることしかできない状況ですが、引続きより一層力を込めて進めていきたいと思っております。

●タウンミーティング③ ～大阪狭山市の公共施設をみんなで考える～

日時：令和6年7月12日（金）18時30分～20時30分

場所：大阪狭山市立公民館 3階大集会室

質疑応答・意見交換

	参加者等のご意見等	応答
1	・障がいを持つ子どもたちの大切な居場所・日中活動の場、地域活動支援センターさつき、福祉センターの工事中の、施設利用者の居場所についてはどうなるのか。 ・代替案があるのであればお聞きしたい。	・まずどういうものを作るかが決まっておらず、どういう工程で進んでいくかも決まっていないため、具体的なことは言えませんが、現在、施設を利用している方々が工事中どうするのかということについては、非常に関心のある部分だと思います。 ・これだけ広大な敷地に、多機能複合施設をできれば規模を縮小してという考えの中で、1つの建物に集約するのか、例えば2つくらいにエリアを分けて集約するのか、3つの建物に集約するかと色々な考え方がありますが、新たな施設を建設中は元の施設が利用できないのでその代替の場所については確保しようと思っています。 ・その代替場所については、どこになるかはわかりませんが、現在の利用者が不便のないよう、活動できる場所は保障していきたいと考えています。
2	・今回の大規模な改装のエリアに含まれる郷土資料館の裏に、会員一同で協力し、また色々な人のご支援もいただき、23年前に会員一同念願のアプリコットホームを建てた。 ・今回の想定されているエリアには、われわれの建物が含まれており、最悪の場合、立て壊しとなるのではと会員一同、大変危機感を持っているが、どのようになるのか。	・大阪狭山市の知的障害をお持ちの方もアプリコットホームさんには、お世話になっています。また、市の障害の事業の充実に対してご協力いただいていることに感謝申し上げます。 ・アプリコットホームについて、今回の対象のエリア内にあるといえませんが、大切なのは、将来、現在のように単独で維持する方がより利用者さんが利用しやすくなるのか、複合化する公民館での色々な活動団体のみなさんと同じ建物の中に入ること、より利用者さんが充実した生活を送れるようになるのか、今後、話し合いになるかと思って

	参加者等のご意見等	応答
		います。 ・今の時点では、どちらでも選択は可能です。どんなかたちでも作ることが出来ます。我々が重要に思っていることは、利用者さんにとってどういう環境があればいいのか、そこを突き詰めていくつもりなので、みなさんのご意見もしっかり聞き、尊重して、かたちを作っていきたいと考えています。
3	・今熊地区周辺エリアについては、現在、公民館、図書館、福祉センター、保健センターがあり、人の集まる場所であると住んでいて思う。 ・例えば市民プールについて、現在は学校のプールを開放しているが、夏休み限定でしか利用できない状況であるため、屋内プールをつくったり出来ないか ・これからは色々な人が利用するという施設になると思うので、そういう施設があると魅力的だと思うのだが。	・この場所で「憩えるようになる」「にぎわえる場所になる」「学ぶ場所になる」このコンセプトに合う機能については、全て検討材料にあげていきたいと考えています。 ・どういう方が、いつ利用されるかなど、色々細かく検討をしていくときに、この場所に、この機能についてはあった方がよりみなさんにとって有益になるだろうという判断になれば必要なものとなっていくと思います。 ・例えば、現在は市民プールについては、小学校のプールをお借りして夏休みの間、市民プールとして開放していますが、今後も現在のようなかたちでよいということになれば、当然今の状態になるでしょうし、そこは今後検討していきたいと思っています。
4	・PTAの役員などしており、子どもたちを見ていて、非常に運動能力の低下をよく感じる。運動機能を上げられるものの必要性を感じる。 ・特に公園ではボール遊びが出来ない、ボールを投げられない子も非常に多い ・また、夏は外が暑いので外で遊べない、体育の授業が出来ない、体育館も使えない、こういう状況があるので、子どもたちの健康や高齢者の熱中症対策として、屋内の運動施設があれば、健康にも寄与するし、非常ににぎわうのではないかと。	・運動機能ということだが、例えばスポーツという運動を考えるならば、本市にもあちこちにスポーツ施設があります。 ・スポーツをイメージした運動を考えるのか、単に健康を維持する運動を考えるかによって、必要な機能の規模や中身が異なると思っています。 ・今後、この施設の中にどんな運動設備があるとよりみなさんが使いやすい施設となるか、検討していきたいと思っているところです。 ・そこが屋内運動場となるかどうかはまだこれから話になりますが、なにがしかの運

	参加者等のご意見等	応答
		動機能が果たせる設備は検討していきたいと考えています。
5	・中学校で今後、クラブ活動等が廃止されるのではないかと話している。子どもが現在小学生で、中学校に入る頃には部活動がなくなっているのではないかと感じている。 ・外部の講師などを呼んで継続するといったことは考えているか。また、そういった取組みが大阪狭山市の魅力になっていくのではないかし、人口減少にも歯止めが効くのではないかと考えているが、それについてはどうか。	・部活動の地域移行についての話は、市としては現在検討段階ですが、令和6年度中には実証的に卓球部を民間にお任せして実施していくという取組みを進めていきたいと考えております。 ・将来的にどのようにしていくかについては、放課後の子どもたちの過ごし方について、社会全体で子どもたちを育てていけるように進めていきたいと考えており、いろんな方々のご協力をいただきながら、市全体で考えていきたいと思っております。 ・また、スポーツに関する部活動だけでなく、文化に関する部活動についても同様に考えております。
6	・ハード面の話が出ているが、お金はあるのかと心配している。 ・ICT教育の充実というのが想像できない。 ・小学校はICT教育のパイロット校になる、あるいは幼稚園・こども園が統合するというソフト面の話は、どういったかたちで進めていくのか。中身についての話を聞いていただける、市民に向けてのミーティングという取組みは今後あるのか。	・ICT教育では、GIGAスクール構想でPCが児童生徒1人に1台貸与されており、その活用を研究していくパイロット校として、市全体に成果を広げていくというかたちを考えておりますが、具体的にどのように授業を進めていくかということについては、これから検討していく段階です。 ・こども園、幼稚園を1園化した時に、どうしていくかという答えはありませんが、ただ数だけ合わせて終わりというわけではなく、他の公立幼稚園・こども園にはない新しい魅力をつくっていく必要があると考えております。 ・狭山中学校の建替えにおいても、現在小学校で推進しているコミュニティ・スクール制度に絡め、地域の方々が学校に入ってきてくれるような、逆に子どもたちが地域に出ていけるような、そういう環境をもてるような校舎づくりが必要であると考えております。 ・今熊施設周辺エリアの公共施設をどうしていこうかということについては、ワークショップを予定しているなど、いろんな機会を

	参加者等のご意見等	応答
		通じて市民の皆さんのお声を聴いてかたちをつくっていきたいと考えております。
7	・建物以外に、そこに集まる人や、内容をどうつなげていくかということを議論するタウンミーティングをぜひ開いてほしい。 ・障がいがある方たちの話を聞くこともしていただきたい。 ・学校のかたちを変えるのであれば、今は地域共生社会などと国が盛んに言っているが、インクルーシブな教育、市民のつながりをどうつくっていくかが大事である。 ・大阪狭山市は、小規模な市なのでつながりがもちやすく、行き来がしやすいという良い面があり、今熊地域のことでもそうだが、子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、みんなが交流できる場をつくるべき。 ・例えば、さやま荘は60歳以上の高齢者の方々が、さつき荘は、障がいのある方々が、その人たちだけで集まる空間となっているのが現状である。 ・実際の経験談として、老人会でボッチャをするときに、小学生を連れて行った際には、自然と会話が生まれ、とても盛り上がったということがあった。 ・全世代が、あの場所へ行けば何かがあるなという場所を市民のみんなで考えるきっかけをぜひもっていただきたい。	・貴重なご意見であり、非常に大切な視点だと思っております。 ・現在の施設もかなり充実した設備であると考えておりますが、新たにつくっていく多機能・複合施設におきましては、絶対に必要な考え方であり、それをかたちにするのに、どのようなことが必要なのかということについて、皆さんと一緒にしっかりと議論してかたちづくっていきたいと考えております。
8	・私学のこども園の運営は、少子化の影響で厳しいなか、公立のこども園と私学のこども園をどう両立させていくかということについては、公平かつ客観的に見ていただく必要があると思う。 ・0歳児の配分など市の判断に委ねているところもあるので、そういう部分で私学と公立の棲み分けについて考えがあれば伺いたい。	・公立、私立との役割については、公立の果たすべき役割を強く求められていると考えており、しっかりと応えていく必要があると考えております。 ・従来から公立と私立の方々との連絡体制があり、具体的にどういう役割をということについても細かく決めていくことが必要であると考えております。 ・ネットワークについては、非常に大事な部

	参加者等のご意見等	応答
	・ネットワークについての言及がなかったので、例えば大学や他の自治体とのつながりのことであり、いろんな施設のファシリティを最も価値の高いかたちで提供するためには、どうしても必要であると考えているので、その点も伺いたい。 ・大阪狭山市自身が発展していく必要があると思うが、移住をプロモーションすることが必要であると考えている。魅力のあるファシリティや、施設、サービスが最終的に移住に繋がると思う。それについて今後具体化して進めていけば、こども園の園児数増加につながるなど全体としてプラスになると思う。	分であり、様々な機関、大学とつながりを持ちながら充実した内容にしていきたいと思っております。 ・子どもたちを今後どうしていくかというところについては、これまでのまちづくりにおいて、子育て世代に特に重点的にいろんな施策を展開し、それを今かたちにしてきている状況であり、その1つが、就学前の子どもたちの環境です。子どもたち、もしくはその保護者にとって、いろんな選択肢があることは魅力の1つとなっていると思っております。 ・時代とともに共働きの世帯が増えたこともあり、長時間預かってほしいというニーズを吸収してきたのは、どちらかという民間の保育所・こども園であり、時代の流れを的確に、早くかたちにしてきたのも民間園であると思っております。そのような民間園の良さと、公立としてセーフティネットとしての役割を担うということなど、それぞれの役割を考えながら、子育て環境、教育環境を充実させてきているという経緯があります。その甲斐もあり、本市は他市に比べると急激な人口減少には至っていないという状況にあると考えております。 ・民間のこども園、保育所にはできない教育・保育というものを追及し、ネットワークを駆使しながら、いろんな新たな魅力をつくっていきたいと考えており、それが本市の子どもたちにとって、より良い環境づくりにつながると思っております。
9	・新こども園の統合についてだが、市ではよくアンケートをされるが、その後いつの間にかすぐに進行してしまうということが過去に何回かあった。 ・以前の太陽光発電も、アンケートをとってすぐに始めてしまった、というのが気になっている。 ・こども園については詳しく知らないが、	・なぜ、今公共施設の見直しをしないといけないのかという現状をしっかりと認識していただきたいと思っております。 ・各施設が抱える課題については説明させていただきところですが、その課題を解決することが本市の子どもたちのためには、一番良いことだと思っておりますので、その辺りを市民の皆様と一緒に考えていきたいと

	参加者等のご意見等	応答
	子どもの数が減ったとしても、市民、親がそれでいいと言っていたら継続したらどうかと思う。 ・新こども園のことは、やらなくてもいいことに時間とお金を使うことになるのではと思っている。	いうことで、こういった場を設けさせていただいておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。
10	・幼稚園の統合のことだが、家から幼稚園が西山台の方に 1 つのこども園になることで、遠くなるという心配される意見が意見募集の中で多かったように思う。親にとっても、子どもにとっても、一番の関心事、不安だと思う。	・公立、私立に関わらず、子どもたち、保護者にとって、魅力があればある程度時間がかかっても通わせたいと思うのではないかと考えており、通わせたいと思っていただけるような園をつくっていくことが、何より大事であると考えております。 ・取組みを進めるにあたりデメリットが生じることも考えられ、一定の配慮は必要であると思いますが、デメリットを上回るだけのメリットをしっかりとつくっていきたいと考えておりますので、ぜひとも今後ともよろしくお願いいたします。